

# 35歳の糖尿病の患者さんのお口の中をのぞいてみると…



(愛知学院大学歯学部 教授 野口先生より資料提供)

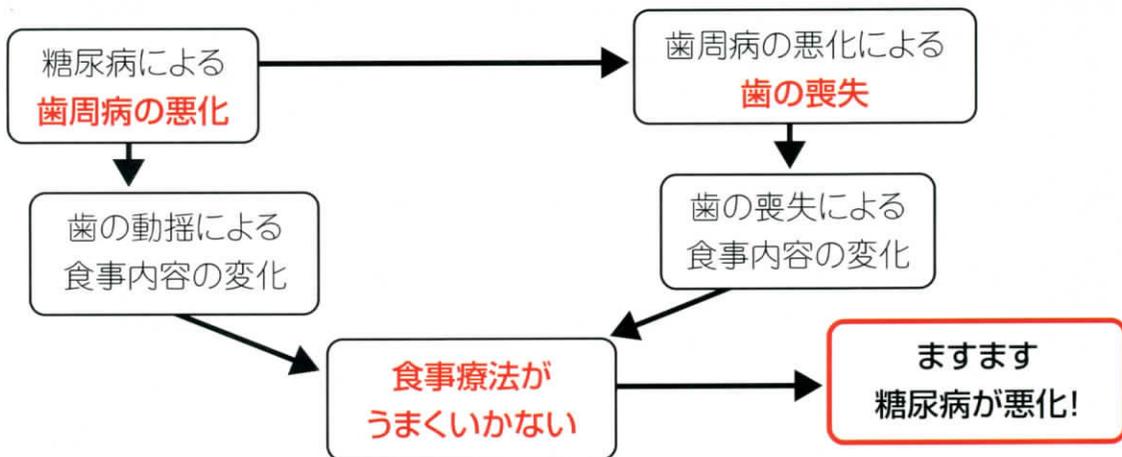
血糖コントロールがうまくできずに、HbA1cが9%を超える数値になってしまった35歳の糖尿病患者さんのお口の中です。

(HbA1cとは、血糖コントロールができていないかを血液検査によって調べる数値です)

あなたは、お口の中に違和感を感じていませんか？

ご自分と同じ年齢のお友達と比べて「おかしい?!」と思ったことはありませんか？

## 糖尿病にかかったら、歯周病を克服しましょう 克服しなきゃいけない、その理由を理解しましょう



### 歯周病とは？

あまり知られていませんが…  
歯周病は、口腔内に症状を持つ慢性感染症です。  
歯と歯ぐきの間のポケットの中で増殖する空気を嫌う細菌が毒素を出して、加速度的な悪化をさせてしまう病気です。  
さらに悪いことに、これらの細菌が出す毒素は、血流中に入り込み、心臓や肺の病気を引き起こしたり、病気への抵抗力の低下や病気を回復させる力の低下をまねいてしまう原因となってしまいます。  
最近明らかになってきたことは、歯周病は単に『お口の中の病気』ではなく、からだ全体に影響を及ぼしてしまう怖い病気なのです。  
糖尿病の治療と併せて、歯周病の予防をすることをお勧めします。

自覚症状がほとんどなく  
知らないうちに悪く  
なってしまいます!